

月	学習内容	観点	評価基準	評価方法
4	体づくり運動	知識・技能	○知識 ・体づくり運動の意義と行い方，体の動きを高める方法などについて理解している。	定期考査、技能テスト、授業観察等
		思考・判断・表現	・自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	定期考査、授業観察 学習カード等
		主体的に学習に取り組む態度	・体づくり運動に積極的に取り組むとともに，仲間の学習を援助しようとする事，一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする事，話し合いに参加しようとする事などをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	授業観察、学習カード等

月	学習内容	観点	評価基準	評価方法
10	器械運動	知識・技能	○知識 ・器械運動の特性や成り立ち，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。	定期考査、技能テスト、授業観察等
11			○技能 ・マット運動では，回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと，条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・鉄棒運動では，支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに行うこと，条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・平均台運動では，体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに行うこと，条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・跳び箱運動では，切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと，条件を変えた技や発展技を行うことができる。	
			思考・判断・表現	
	主体的に学習に取り組む態度	・器械運動に積極的に取り組むとともに，よい演技を認めようとする事，仲間の学習を援助しようとする事，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする事などをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	授業観察、学習カード等	

月	学習内容	観点	評価基準	評価方法
4 5 1	陸上競技	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・陸上競技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・短距離走・リレーでは，滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせることができる。 ・長距離走では，ペースを守って走ることができる。 ・ハードル走では，リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・走り幅跳びでは，スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは，リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。 	定期考査、技能テスト、授業観察等
		思考・判断・表現	・動きなどの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。	定期考査、授業観察 学習カード等
		主体的に学習に取り組む態度	・陸上競技に積極的に取り組むとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	授業観察、学習カード等

月	学習内容	観点	評価基準	評価方法
7 9	水泳	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・水泳の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・バタフライでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 	定期考査、技能テスト、授業観察等
		思考・判断・表現	・泳法などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。	定期考査、授業観察 学習カード等
		主体的に学習に取り組む態度	・水泳に積極的に取り組むとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。	授業観察、学習カード等

月	学習内容	観点	評価基準	評価方法
6 10 11 12	球技	知識・技能	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴール型では，ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ネット型では，ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ベースボール型では，基本的なバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 	定期考査、技能テスト、授業観察等
2		思考・判断 ・表現	・攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	定期考査、授業観察 学習カード等
3		主体的に学習に取り組む態度	・球技に積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとするこ と，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするこ と，仲間の学習を援助しようとするこ となどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	授業観察、学習カード等

月	学習内容	観点	評価基準	評価方法
2 3	武道	知識・技能	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 武道の特性や成り立ち，伝統的な考え方，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 剣道では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 	定期考査、技能テスト、授業観察等
		思考・判断 ・表現	・攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。	定期考査、授業観察 学習カード等
		主体的に学習に取り組む態度	・武道に積極的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするこ となどをしたり，禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配 ったりしている。	授業観察、学習カード等

月	学習内容	観点	評価基準	評価方法
1 2	ダンス	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・ダンスの特性や由来，表現の仕方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・創作ダンスでは，多様なテーマから表したいイメージを捉え，動きに変化を付けて即興的に表現したり，変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは，日本の民踊や外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは，リズムの特徴を捉え，変化のある動きを組み合わせ，リズムに乗って全身で踊ることができる。 	定期考査、技能テスト、授業観察等
		思考・判断 ・表現	・表現などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	定期考査、授業観察 学習カード等
		主体的に学習に取り組む態度	・ダンスに積極的に取り組むとともに，仲間の学習を援助しようとする事，交流などの話合いに参加しようとする事，一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとする事などをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。	授業観察、学習カード等

月	学習内容	観点	評価基準	評価方法
通 年	体育理論	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・運動やスポーツが多様であることについて理解している。 	定期考査、技能テスト、授業観察等
		思考・判断 ・表現	・運動やスポーツが多様であることについて，自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えている。	定期考査、授業観察 学習カード等
		主体的に学習に取り組む態度	・運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組もうとしている。	授業観察、学習カード等

月	学習内容	観点	評価基準	評価方法
通 年	保健 調和 のとれた 生活	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解している。 生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できることを理解している。 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があることを理解している。 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解している。 健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は、正しく使用することを理解している。 	定期考査、技能テスト、授業観察等
		思考・判断 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 	定期考査、授業観察 学習カード等
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。 	授業観察、学習カード等

月	学習内容	観点	評価基準	評価方法
通 年	保健 心身の 発達と 心の影 響	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があることを理解している。 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることを理解している。 知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達すること。また、思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされることを理解している。 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解しているとともに、それらに対処する技能を身に付けている。 	定期考査、技能テスト、授業観察等
		思考・判断 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 	定期考査、授業観察 学習カード等
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。 	授業観察、学習カード等